

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年10月15日

【四半期会計期間】 第1期第2四半期(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

【会社名】 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

【英訳名】 United Super Markets Holdings Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 上田 真

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田相生町1番地

【電話番号】 03-3526-4766

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 熊谷 直義

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第1期 第2四半期 連結累計期間
会計期間		自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日
売上高	(百万円)	322,285
経常利益	(百万円)	7,277
四半期純利益	(百万円)	3,378
四半期包括利益	(百万円)	3,561
純資産額	(百万円)	132,129
総資産額	(百万円)	252,901
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	25.66
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	(円)	-
自己資本比率	(%)	52.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	9,857
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	8,576
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,261
現金及び現金同等物の 四半期末残高	(百万円)	31,261

回次		第1期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	13.11

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は平成27年3月2日設立のため、前連結会計年度以前に係る記載はしておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は当事業年度の第1四半期報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日に、(株)マルエツ、(株)カスミ及びマックスバリュ関東(株)（以下「3社」といいます。）の共同持株会社として発足いたしました。なお、当連結会計年度が設立第1期となるため、前連結会計年度及び前四半期連結累計期間との対比は行っていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、全体として回復基調にあるものの、為替や株式市場の不安定さもあり、不透明な情勢です。また、消費環境についても、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかないなど、実質賃金の伸び悩みもあり、個人消費に力強さを欠く状況が続いております。

当社グループは、平成27年4月6日に、「統合シナジーによる新たな価値創造」を基本とする中期経営方針を策定し、4つの基本戦略の具現化への取り組みを開始いたしました。その戦略は、新たな商品価値の創造、新たなサービスの創造、次世代を担う人財の育成、経営効率の改善であります。これらはユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)として、首都圏での経営基盤を確固たるものとし、そのための具体的な戦略的施策において統合シナジーの創造を図るものであり、その具現化に向けて、プロジェクト・チームを組成し推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の主な内容成果としましては、「商品」において、3社の共同調達による対象品目を拡げ、さらなる原価低減に取り組みました。また、販売促進等の「営業企画」では、定期的な3社共同販促企画を実施し、客数増に寄与いたしました。その他、スーパーマーケット経営の根幹である、「人材育成」「物流」「情報システム」「店舗開発」「事業創造」等の領域でのプロジェクトも活発に活動し、業績向上に寄与するさらなる「統合シナジーの創造」に向けて取り組みを進めました。

主要連結子会社である3社の各店舗においては、生鮮・惣菜を強化するとともに、生活ニーズを反映した商品や売場を展開することにより、他業態等との差別化を図り、既存店売上高前年同期比は、当第2四半期連結累計期間で103.2%と好調に推移いたしました。

(株)マルエツは平成27年度を「更なる『飛躍』に向けた『変貌』の年」と位置づけ、「競争力の進化」「生産性の進化」「マネジメント力の進化」に取り組みました。主な施策としては、青果部門の集客力向上に向けた取り組みの推進、惣菜部門の主力商品のリニューアルによる活性化、センター加工商品の品揃え拡充等、生鮮・惣菜の強化を図るとともに、改装・リニューアルによる既存店活性化を推進いたしました。更に、都心店統括部の店舗で実施している「勧告型自動発注システム」を標準店統括部の店舗へ拡大、10店舗での「セミセルフレジ」の実験導入、伝票レス化の推進等を行うことにより、生産性の改善を図りました。

(株)カスミでは、お客様の声に真摯に耳を傾け、対話と交流を通して地域の皆さまに「いいね！」と共感していただけの店舗づくりを目指す「ソーシャルシフトの経営」に基づく取り組みを推進いたしました。営業面では、自主自律型の店舗運営を志向するソーシャルシフト店舗を117店舗に拡大しました。店舗ごとに従業員が自主的に企画したイベントや売場づくりなどを社内フェイスブックにてリアルタイムで共有し、お客様目線の売場・サービス・情報・提案に取り組むことで、地域の中で「わたしの店」と感じていただける店舗づくりを進めました。

マックスバリュ関東(株)では、お客様満足の実現に向けて「変革」と「実行」をスローガンに掲げ、既存店強化策として重点店舗の青果売場を中心にレイアウト及び品揃えの変更を実施いたしました。営業面では、お客様のライフスタイル、生活行動の変化にお応えするため、売場展開と品揃えの強化を推進いたしました。また、当事業年度から営業サポート部を新設し、オペレーション技術の向上、働き方の改革を通じ現場力強化に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間において、(株)マルエツが8店舗、(株)カスミが5店舗、当社グループ計で13店舗を新設しました。一方、経営資源の効率化を図るため、(株)マルエツが4店舗、(株)カスミが1店舗、マックスバリュ関東(株)が4店舗、当社グループ計で9店舗を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、中国江蘇省の2店舗を含めまして485店舗となりました。

また、当社グループは環境・社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。(株)カスミでは、今回で4回目となる「陸前高田七夕まつり体験学習2015」を平成27年8月に開催、出店エリアの小学生24名と同社従業員が岩手県陸前高田市の七夕まつりに参加いたしました。(株)マルエツでは、ウナギ資源保護活動の支援を目的に、「土用丑の日」期間（平成27年7月20日～7月24日）に販売したウナギ製品の売上金から1点につき10円、総額約200万円の寄付を行いました。その他、当社グループの各店舗では、食品トレー、牛乳パック等のリサイクル資源の回収も継続して行っております。

なお、当社グループはスーパーマーケット事業を単一セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

このような状況において、各施策に取り組みました結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、営業収益が3,293億80百万円、営業利益が71億58百万円、経常利益が72億77百万円、四半期純利益が33億78百万円となりました。

(参考情報)

主要連結子会社では、当第2四半期連結累計期間における㈱マルエツの単体の営業収益は1,807億32百万円(前年同四半期比6.5%増)、㈱カスミの単体の営業収益は1,228億8百万円(前年同四半期比6.9%増)、マックスパリュ関東㈱の単体の営業収益は238億38百万円(前年同四半期比5.2%減)の結果でした。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,529億1百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が312億62百万円、たな卸資産が159億27百万円など流動資産が697億13百万円、有形固定資産が1,159億51百万円、投資その他の資産が482億40百万円など固定資産が1,831億87百万円であります。

負債は、1,207億72百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が504億15百万円など流動負債が868億85百万円、長期借入金が181億円など固定負債が338億86百万円であります。

純資産は、1,321億29百万円となりました。その主な内訳は、資本金が100億円、資本剰余金が1,043億19百万円、利益剰余金が155億39百万円など株主資本合計が1,298億52百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は29億64百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益64億77百万円、減価償却費42億28百万円、仕入債務の増加49億29百万円、未払消費税等の減少29億円、法人税等の支払額37億71百万円などにより、98億57百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出84億54百万円などにより、85億76百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済33億円、配当金の支払8億29百万円などにより、42億61百万円の支出となりました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、312億61百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当事業年度の第1四半期報告書に記載した「事業上及び財務上の対処すべき課題」について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	500,000,000
計	500,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	131,681,356	131,681,356	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	131,681,356	131,681,356	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成27年8月31日		131,681,356		10,000		2,500

(6) 【大株主の状況】

平成27年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イオンマーケットインベストメント株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬 1 - 5 - 1	67,159	51.00
カスミ取引先持株会	茨城県つくば市西大橋 5 9 9 - 1	2,936	2.23
公益財団法人神林留学生奨学会	東京都文京区本駒込 2 - 1 2 - 1 3	2,300	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1 - 8 - 1 1	1,736	1.32
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬 1 - 5 - 1	1,629	1.24
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内 1 - 6 - 6	1,531	1.16
株式会社日本アクセス	東京都品川区大崎 1 - 2 - 2	1,473	1.12
U.S.M.H従業員持株会	東京都千代田区神田相生町 1 番地	1,313	1.00
C B N Y - G O V E R N M E N T O F N O R W A Y (常 任 代理人 シティバンク銀行株式会 社)	3 8 8 G R E E N W I C H S T R E E T , N E W Y O R K , N Y 1 0 0 1 3 U S A (東京都新宿区新宿 6 - 2 7 - 3 0)	1,184	0.90
国分株式会社	東京都中央区日本橋 1 - 1 - 1	1,099	0.84
計		82,364	62.55

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 1,736千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 131,470,800	1,314,708	-
単元未満株式	普通株式 204,656	-	-
発行済株式総数	131,681,356	-	-
総株主の議決権	-	1,314,708	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,100株(議決権11個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄には当社所有の自己株式39株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社	東京都千代田区神田 錦町一丁目1番地	5,900	-	5,900	0.00
計	-	5,900	-	5,900	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

(2) 当社は、共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱の完全親会社として設立されました。当四半期報告書は設立第1期となるため、前連結会計年度及び前年同四半期との対比は行っておりません。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	31,262
受取手形及び売掛金	1,392
たな卸資産	1 15,927
その他	21,203
貸倒引当金	72
流動資産合計	69,713
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	59,723
土地	42,479
その他(純額)	13,749
有形固定資産合計	115,951
無形固定資産	
のれん	15,892
その他	3,103
無形固定資産合計	18,995
投資その他の資産	
退職給付に係る資産	193
差入保証金	34,340
その他	14,099
貸倒引当金	393
投資その他の資産合計	48,240
固定資産合計	183,187
資産合計	252,901

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年8月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	50,415
1年内返済予定の長期借入金	10,100
未払法人税等	2,919
賞与引当金	1,926
転貸損失引当金	8
店舗閉鎖損失引当金	156
その他	21,358
流動負債合計	86,885
固定負債	
長期借入金	18,100
役員退職慰労引当金	327
転貸損失引当金	271
債務保証損失引当金	110
退職給付に係る負債	1,319
資産除去債務	4,315
その他	9,443
固定負債合計	33,886
負債合計	120,772
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	104,319
利益剰余金	15,539
自己株式	6
株主資本合計	129,852
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	85
為替換算調整勘定	379
退職給付に係る調整累計額	1,192
その他の包括利益累計額合計	1,657
少数株主持分	619
純資産合計	132,129
負債純資産合計	252,901

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
売上高	322,285
売上原価	231,506
売上総利益	90,779
営業収入	7,094
営業総利益	97,873
販売費及び一般管理費	¹ 90,715
営業利益	7,158
営業外収益	
受取利息	47
受取配当金	41
その他	275
営業外収益合計	364
営業外費用	
支払利息	132
その他	112
営業外費用合計	244
経常利益	7,277
特別損失	
減損損失	596
店舗閉鎖損失引当金繰入額	156
店舗閉鎖損失	47
特別損失合計	800
税金等調整前四半期純利益	6,477
法人税、住民税及び事業税	2,460
法人税等調整額	687
法人税等合計	3,148
少数株主損益調整前四半期純利益	3,329
少数株主損失()	49
四半期純利益	3,378

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,329
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	86
為替換算調整勘定	18
退職給付に係る調整額	127
持分法適用会社に対する持分相当額	1
その他の包括利益合計	231
四半期包括利益	3,561
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,604
少数株主に係る四半期包括利益	43

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成27年3月1日
至 平成27年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	6,477
減価償却費	4,228
減損損失	596
のれん償却額	406
貸倒引当金の増減額(は減少)	14
賞与引当金の増減額(は減少)	260
転貸損失引当金の増減額(は減少)	24
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	123
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	18
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	147
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	193
受取利息及び受取配当金	89
支払利息	132
売上債権の増減額(は増加)	951
たな卸資産の増減額(は増加)	145
未収入金の増減額(は増加)	1,017
仕入債務の増減額(は減少)	4,929
未払消費税等の増減額(は減少)	2,900
その他	401
小計	13,643
利息及び配当金の受取額	128
利息の支払額	143
法人税等の支払額	3,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	8,454
無形固定資産の取得による支出	864
敷金及び保証金の差入による支出	840
敷金及び保証金の回収による収入	1,569
その他	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	3,300
配当金の支払額	829
その他	132
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	16
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,964
現金及び現金同等物の期首残高	20,481
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	2 13,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 31,261

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
商品	15,812百万円
貯蔵品	115百万円

2 偶発債務

連結子会社以外の会社の金融機関からの借入等に対して、債務保証を行っております。

	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
(株)珂湊商業開発	104百万円
(株)セイブ	14百万円
合計	118百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
給料及び手当	37,264百万円
賞与引当金繰入額	1,926百万円
退職給付費用	608百万円
役員退職慰労引当金繰入額	20百万円
貸倒引当金繰入額	92百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
現金及び預金	31,262百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	1百万円
現金及び現金同等物	31,261百万円

- 2 株式移転による共同持株会社の設立により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の内訳

株式移転によりカスミグループから引き継いだ現金及び現金同等物は13,744百万円であり、引き継いだ現金及び現金同等物以外の資産及び負債の主な内訳は以下のとおりであります。

流動資産	15,113	百万円
固定資産	64,836	百万円
資産合計	79,949	百万円
流動負債	35,246	百万円
固定負債	10,455	百万円
負債合計	45,701	百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1 配当金支払額

当社は平成27年3月2日に共同株式移転により設立された共同持株会社であるため、配当金の支払額は下記の完全子会社の定時株主総会又は取締役会において決議された金額であります。

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月21日 定時株主総会	(株)マルエツ 普通株式	375	3.00	平成27年2月28日	平成27年5月22日	利益剰余金
平成27年4月6日 取締役会	(株)カスミ 普通株式	453	7.00	平成27年2月28日	平成27年5月15日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議(予定)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日(予定)	配当の原資
平成27年11月27日 臨時株主総会	普通株式	921	7.00	平成27年8月31日	平成27年11月30日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動

当社は、共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で(株)マルエツ、(株)カスミ及びマックスバリュ関東(株)の完全親会社として設立されました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が10,000百万円、資本剰余金が104,319百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

当社グループは、スーパーマーケット事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	25円66銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(百万円)	3,378
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,378
普通株式の期中平均株式数(株)	131,676,879

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成27年11月27日開催の臨時株主総会において、平成27年8月31日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議する予定です。

配当金の総額	921百万円
1株当たりの金額	7円00銭
支払請求の効力発生日及び支払開始日	平成27年11月30日(予定)

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年10月13日

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	津田良洋	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	坂本一朗	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山田円	印
--------------------	-------	-----	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社の平成27年3月1日から平成28年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成27年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。